

Wikipedia を用いた文化差検出手法の提案

吉野 孝^{†1} 宮部 真衣^{†2}

多言語間コミュニケーションにおいて, 同一の単語を用いて会話をしている場合でも, 相手の文化について十分に理解していないために, 誤解が生じる可能性がある. 現在, 文化差の有無の判断は, 人が行う必要があるが, その判断には相手の文化に関する十分な知識が必要なため, 容易ではない. 今回は, 文化差の検出手法として, Wikipedia の各記事の内容に含まれる国名・言語名の数を利用を検討した. 実験の結果, 提案手法を用いることにより, 文化差を判定できる可能性を示した.

A Study on Cultural Difference Detection using Wikipedia

TAKASHI YOSHINO ^{†1} and MAI MIYABE ^{†2}

There is a possibility that the misunderstanding is caused in multilingual communications, because people cannot understand enough other culture even when talking by using the same word. People should judge the presence of a cultural difference now. However, it is difficult to judge it because enough knowledge of other culture is necessary. We propose the detection method using the number of the name of a country and language name included in the content of each article on Wikipedia. From the result of the experiment, the method can show the possibility of the detection of culture difference.

1. はじめに

多言語間コミュニケーションにおいて, 同一の単語を用いて会話をしている場合でも, 相手の文化について十分に理解していないために, 誤解が生じる可能性がある¹⁾. 我々はこれ

までに, 遠隔チャット中や対面コミュニケーション中に, 画像等のアノテーションを付与する手法を用いて, 誤解を減らす工夫を行った^{2),3)}. しかし, アノテーションの付与が必要となる語句の選択は, 利用者自身が行う必要があった. つまり, 文化差の有無の判断は, 利用者自身が行う必要がある. しかし, その判断には相手の文化に関する十分な知識が必要なため, 容易ではない. そのため, 文化差が存在することを自動的に検出する仕組みが求められている.

そこで我々は, 多言語知識のデータベースである, Wikipedia の利用による文化差の検出手法について提案する. 本稿では, Wikipedia を用いた文化差検出の仕組みとその評価について報告する.

2. 関連研究

関連研究として, まず, 異文化間のコミュニケーションにおける, 文化差に関する研究を示す. Cho らは, 異文化話者らがコンピュータとネットワークを介してコミュニケーションを行う際に用いる絵文字に着目した. 絵文字は, 異文化間で普遍的に解釈されない問題がある. そこで, その問題を解決するために, 解釈に文化差のある絵文字の検出における工学的な手法の適用可能性について検討した⁴⁾. 検討の結果, 従来の工学的な手法では, 人の文化差判定を近似することは困難であることを示した. Koda らは, アバターを介したコミュニケーションにおいて, 異文化間における表情の解釈に着目した. アバターの表情に関するユーザの解釈について実験を行った結果, 表情の解釈が文化によって大きく異なることを示した⁵⁾. 文化差に関しては, これまでにいくつかの検討が行われているが, 文化差判定は容易ではない.

Wikipedia の複数の言語版を利用した研究を示す. 松浦らは, 日本語と外国語での同一ニュースに関する変遷を分析するために, Wikipeida を用いている⁶⁾. 吉岡は, 機械翻訳システムの辞書構築のために, Wikipedia の言語間リンクを用いて中日の翻訳辞書を作成する方法を提案している⁷⁾.

このように, Wikipedia は知識抽出分野で資源として注目を集めており, 様々な利用が検討されている. しかし, これまでに, Wikipedia の多言語データを利用した文化差検出に関する試みは行われていない.

^{†1} 和歌山大学システム工学部

Faculty of Systems Engineering, Wakayama University

^{†2} 東京大学知の構造化センター

Center for Knowledge Structuring, The University of Tokyo

3. 提案手法

3.1 文化差の定義

文化差を定義するためには、まず、「文化」の定義が必要である。「文化」(Culture)の定義は、日本と欧米では異なり、一概に定義することは困難である⁸⁾。例えば、今日欧米で用いられる「文化」は、「知識、信仰、芸術、道徳、慣習、その他社会の一員としての人間によって獲得される能力や習慣を包含する複合体である」と定義づけられている⁸⁾。このような「文化」を単純に「測る」ことは困難であるが、コミュニケーション支援に文化差検出手法を適用するためには、何らかの尺度を考える必要がある。そこで本稿では、特に「知識」の面から「文化」を捉えることとし、まず、文化差検出手法の第一歩として、形式知化された知識の違いで文化差を測ることとした。

まず、第1種の文化差と第2種の文化差を定義する。

図1に第1種の文化差の定義を示す。第1種の文化差は、Wikipediaにおける記事の言語間リンクの有無を利用したものである。どちらか一方のみに記事があれば、「文化差がある」(=第1種の文化差)と判定する*1。第1種の文化差のある語句は、一方の文化圏で発生し、相手の文化圏に存在しない、あるいは伝わっていないものであると考えられる。このような語句は、リンクの有無で判定可能である。例えば、「だてマスク」という言葉は日本の新語のため、日本語版 Wikipedia にはあるが、他言語版には記事が存在しない。また、ある文化圏で発生し、相手の文化圏に伝わった語句は、文章量の違いで判定可能である。例えば、「モスバーガー」は日本発祥のため、日本語版 Wikipedia のコンテンツは多いが、他の言語版にはコンテンツが少ない、あるいはコンテンツが存在しない。

Wikipedia の記事の有無を利用した方法は、両方に記事が十分にある場合には、文化差を判定することができない。当初我々は、知識の量の違いを利用することで、文化差の判定が出来ると考えた⁹⁾。検討の結果、Wikipedia の言語間リンク*2の有無や文章量の違いを用いることで、文化差を判定できる可能性を示した。しかし、語句そのものは両方の文化に存在するが、その語句が持つ意味が異なる場合の判定を行うことが出来なかった。また、Wikipedia では、各言語版の Wikipedia 間の翻訳によって記事の作成が広く行われている¹⁰⁾。そのため、言語間リンクの有無や文章量での判別方法だけでは、文化差の検出効

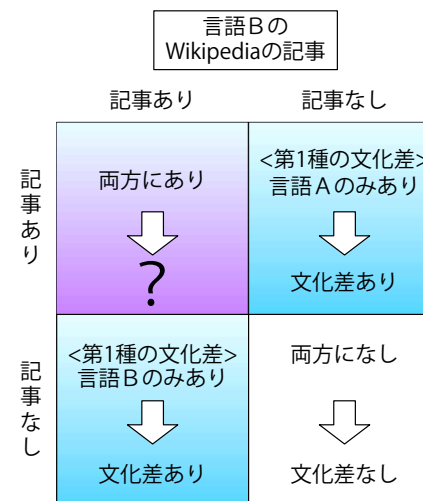


図1 第1種の文化差の定義 (記事の有無を利用)

Fig.1 Definition of the first kind of cultural differences using the presence of an article.

果が限定的であると考えられる。そこで、今回は、Wikipedia の各記事の内容を用いた文化差の検出を検討した。

図2に第2種の文化差の定義を示す。第2種の文化差は、Wikipedia の記事に含まれる国名・言語名の数を利用したものである。例えば、異なる2つの言語版の Wikipedia において、どちらの記事にも、ある特定の国名・言語名が多い場合には、各記事は、同じ内容の説明を行っている記事であり、「文化差がない」と判定する。各言語版の Wikipedia の記事は、各言語を解する執筆者によって書かれる。逆に、各言語版の国名・言語名が多い場合は、それぞれの国におけるその言葉の説明であるため、各国で違いがある。各記事において、それぞれの記事の言語の国名や言語名が多い場合には、「文化差がある」(=第2種の文化差)と判定する。「第2種の文化差」のある語句としては、どちらの文化圏にも存在するが、それぞれの文化圏で意味の異なるものであると考えられる。例えば、「醤油」は日本と中国のどちらにも存在するが、お互いに異なる。

本稿では、第2種の文化差の検出について検討を進める。

*1 単純に、記事が作成されていないだけの場合も考えられる。

*2 他言語版のウィキペディアへのリンク。

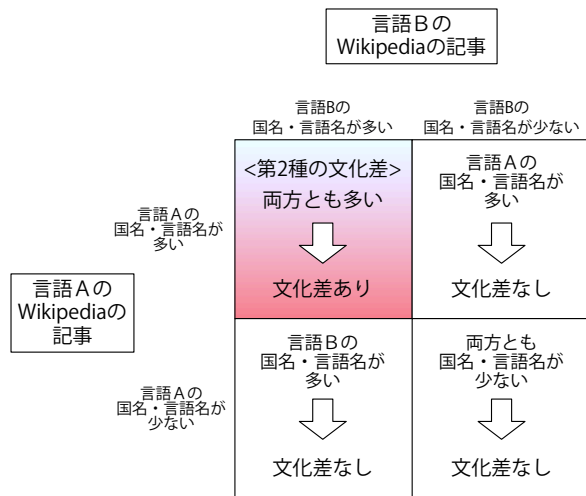


図2 第2種の文化差の定義 (国名・言語名の数を利用)

Fig. 2 Definition of the second kind of cultural differences using the number of names of a country.

3.2 文化差の検出方法

各言語版 Wikipedia の記事に含まれる国名数・言語名数を利用して、第2種の文化差の検出を行う。

検出手順を次に示す。

(1) 記事の前処理

Wikipedia の記事のページには、記事以外の情報 (Wikipedia 財団からの連絡や多言語へのリンクなど) も含まれる。そこで、取得した記事から、本文の開始を示すタグ (“<!- bodytext ->”) と終了を示すタグ (“<!- /bodytext ->”) の間の記事を取得した。その他に、HTML タグや Wikipedia に含まれる記事以外のメタ情報も削除した。

(2) 国名・言語名の検索処理

国名・言語名の検索処理では、前処理で得られたデータ内の国名・言語名を検索する。検索する語句は、「国名」「国名の」「言語」「言語の」「～人」「～人の」を意味する語句である。例えば、「葛飾北斎」に関する記事を検索する場合、各言語版の Wikipedia

表1 各言語版記事における「日本」の検索語句

Table 1 Retrieval words and phrases of “Japan” in each language article.

検索対象	検索語句
日本語記事内の日本の検索語	日本
中国語記事内の日本の検索語	日语, 日本
韓国語記事内の日本の検索語	일본
英語記事内の日本の検索語	Japan
ポルトガル語記事内の日本の検索語	Japão, japonês
フランス語記事内の日本の検索語	Japon
ドイツ語記事内の日本の検索語	Japan
スペイン語記事内の日本の検索語	Japón, japonés

の記事において、「日本」「日本の」「日本語」「日本語の」「日本人」「日本人の」を意味する言葉の検索を行う。本稿では以降、上記の検索語句を、「国名関連語」と示す。表1に、各言語版記事における「日本」の検索語句を示す。検索は、形態素解析等を用いず、正規表現によるマッチングで行っている。そのため、例えば、日本語では、「日本」と「日本人」を検索すると二重に数え上げるため、「日本」のみの検索を行っている。他の言語でも同様な処理を行っている。例えば、英語では、「日本」を表す「Japan」だけではなく、「日本人・日本語」を表す「Japanese」の検索も必要であるが、「Japan」の検索処理で、「Japanese」も数え上げられるため、検索語句から省いている。

(3) 文化差の判定処理

文化差の判定処理では、各記事内に含まれる、国名関連語の数の違いを比較する。図3に、国名関連語の数を利用した第2種の文化差の検出方法を示す。各言語の Wikipedia の記事に含まれる国名関連語の検索数を比較し、不等号の向きが同じ場合には、文化差なしと判定する。不等号の向きが異なる場合には、文化差ありと判定する。

4. 実験方法

本研究では、Wikipedia を多言語知識のデータベースとして用いている。今回、文化差検出の基準となる言語は日本語版 (72.7 万件) とした。Wikipedia での比較対象の言語としては、Wikipedia 上において登録記事数の多い、英語版 (352.5 万件)、ドイツ語版 (117.4 万件)、フランス語版 (105.4 万件)、スペイン語版 (69.9 万件)、ポルトガル語版 (66.6 万件) の5言語および中国語版 (34.0 万件)、韓国語版 (15.3 万件) を含めた、合計7言

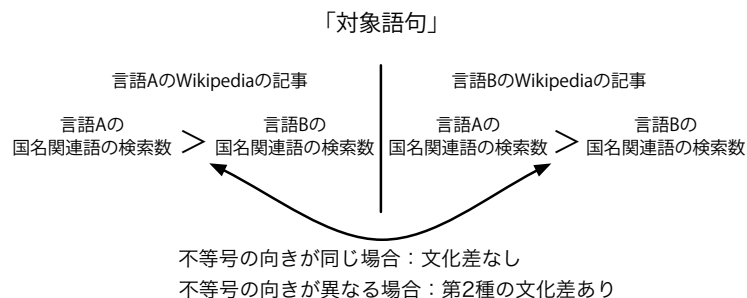


図3 国名関連語の数を利用した第2種の文化差の検出方法

Fig. 3 Detection method of the second kind of cultural differences using the number of country-related words.

表2 「すべての言語版にあるべき項目」(Wikipedia 作成優先項目)の記事の件数
Table 2 Number of articles on Wikipedia vital articles (Wikipedia priority items).

日本語版	英語版	中国語版	韓国語版	ドイツ語版	フランス語版	スペイン語版	ポルトガル語版
1000	1000	996	998	994	996	997	998

語を用いることとした*1.

Wikipediaは、言語によって登録記事数に大きな差がある。そこで、文化差の検出効果を検証する分野(記事)として、「すべての言語版にあるべき項目の一覧*2」(以下、「Wikipedia 作成優先項目」と略す)を用いて評価を行った*3。「Wikipedia 作成優先項目」は、全ての言語版が最低限の有用な内容を持つように促すことを目的に選択されており、世界的な著名人や宗教、国名、社会問題、言語、科学などの幅広い分野にわたる1000項目が列挙されている。

表2に、今回利用した各言語版の「Wikipedia 作成優先項目」の項目数を示す。日本語版と英語版に関しては、1000件の記事全てが作成されているが、他の言語版では、数件の記事が作成されていない。表3に、「Wikipedia 作成優先項目」に含まれる項目の一部を示す。多様な分野の項目が選択されていることがわかる。

*1 Wikipedia 上の登録件数は2011年1月10日現在の値である。

*2 <http://ja.wikipedia.org/wiki/Wikipedia:すべての言語版にあるべき項目の一覧>

*3 記事は、Web上から2011年1月10日に取得したものを利用した。

表3 「すべての言語版にあるべき項目」(Wikipedia 作成優先項目)の記事の例

Table 3 Examples of article items on Wikipedia vital articles (Wikipedia priority items).

人物	世界観と宗教	言語と文学	科学	芸術と娯楽
チャールズ・チャップリン	神	日本語	ビッグバン	漫画
葛飾北斎	宗教	千夜一夜物語	デオキシリボ核酸	アニメ
レオナルド・ダ・ヴィンチ	キリスト教	ギルガメシュ叙事詩	金属	テニス
李白	ヨーガ	漢字	一般相対性理論	チェス
黒澤明	禅	イーリアス	ジャガイモ	囲碁

5. 実験結果と考察

5.1 日本特有の記事

表4、表5、表6に、それぞれ、各言語で書かれた日本特有の記事における「日本」の検索結果、各言語で書かれた日本特有の記事における「イギリス」「アメリカ」の検索結果、各言語で書かれた日本特有の記事における「中国」の検索結果を示す*4。

表4から、日本語で書かれた「日本」の記事の中に、「日本」という語句は638件含まれていることがわかる。同様に、中国語で書かれた「日本」の記事の中には、367件の「日本」「日本語」(の中国語訳)の語句が含まれていることがわかる。その他の言語にも、日本語で書かれた「日本」の記事の中には、「日本」を表す語句が含まれていることがわかる。また、表5、表6より、日本語で書かれた「日本」の記事の中には、「イギリス」「アメリカ」を示す語句が91件、「中国」を示す語句が92件含まれている。

5.2 文化差検出手法の適用例

本節では、文化差検出手法の適用について、説明する。

表4をみると、「黒澤明」に関して、日本語版Wikipediaの記事内の「日本」の検索数は、29件である。この検索数は、表5の日本語版Wikipediaの記事内の「イギリス」「アメリカ」の検索数(10件)よりも多い。同様に、英語版Wikipediaの「黒澤明」に関する記事内の「日本」の検索数(136件)(表4)は、英語版Wikipediaの記事内の「イギリス」「アメリカ」の検索数(33件)(表5)よりも多い。図4(1)に、「黒澤明」に対する、文化差検出手法の適用例を示す。今回提案した手法では、「黒澤明」には、文化差がないと判定できる。

図4(2)に、「サッカー」に対する、文化差検出手法の適用例を示す。「サッカー」は、日

*4 実験は、日本語、中国語、韓国語、英語、ポルトガル語、フランス語、ドイツ語、スペイン語で行っている。

表 4 各言語で書かれた日本特有の記事における「日本」国名関連語の検索結果

Table 4 Retrieval result of “Japan” and “Japanese” related words and phrases in peculiar article to Japan written in each language.

記事	日本	中国	韓国	英語	ポルトガル	フランス	ドイツ	スペイン
日本	638	367	468	521	268	192	258	132
日本語	585	128	86	296	63	25	97	56
明治維新	28	38	33	71	22	11	3	6
東京都	68	15	43	68	-	-	9	-
松尾芭蕉	11	5	5	18	18	11	6	12
葛飾北斎	11	3	4	32	12	3	6	3
黒澤明	29	13	26	136	6	8	5	12

表 5 各言語で書かれた日本特有の記事における「イギリス」「アメリカ」国名関連語の検索結果

Table 5 Retrieval result of “U.K.” and “U.S.A.” related words and phrases in peculiar article to Japan written in each language.

記事	日本	中国	韓国	英語	ポルトガル	フランス	ドイツ	スペイン
日本	91	14	33	39	21	17	13	11
日本語	7	0	1	8	3	1	0	0
明治維新	3	4	4	1	0	1	0	0
東京都	6	1	3	7	-	-	0	-
松尾芭蕉	0	0	0	1	0	0	0	0
葛飾北斎	2	0	0	1	0	0	0	0
黒澤明	10	0	4	33	0	1	0	0

表 6 各言語で書かれた日本特有の記事における「中国」国名関連語の検索結果

Table 6 Retrieval result of “China” and “Chinese” related words and phrases in peculiar article to Japan written in each language.

記事	日本	中国	韓国	英語	ポルトガル	フランス	ドイツ	スペイン
日本	92	10	32	44	21	17	26	18
日本語	53	8	7	36	2	3	5	1
明治維新	2	1	8	0	0	0	0	1
東京都	2	2	4	6	-	-	3	-
松尾芭蕉	0	0	0	1	0	0	0	0
葛飾北斎	3	0	0	3	0	1	0	0
黒澤明	0	0	0	4	0	0	0	0

日本語版の Wikipedia には、「日本」の国名関連語が 32 件、「フランス」の国名関連語が 4 件あった。しかし、フランス語版の Wikipedia には、「日本」の国名関連語が 3 件、「フランス」の国名関連語が 161 件あった。今回提案した手法では、「サッカー」には、第 2 種の文化差があると判定できる。

(1) 「黒澤明」

日本語版の Wikipedia の記事			英語版の Wikipedia の記事		
「日本」の国名関連語の検索数	>	「イギリス」「アメリカ」の国名関連語の検索数	「日本」の国名関連語の検索数	>	「イギリス」「アメリカ」の国名関連語の検索数
29		10	136		33

(2) 「サッカー」

日本語版の Wikipedia の記事			フランス語版の Wikipedia の記事		
「日本」の国名関連語の検索数	>	「フランス」の国名関連語の検索数	「日本」の国名関連語の検索数	<	「フランス」の国名関連語の検索数
32		4	3		161

図 4 国名関連語を用いた文化差検出の例

Fig. 4 Example of detection of cultural differences using the number of country-related words.

5.3 第 2 種の文化差の検出

表 7 に、日本語版 Wikipedia と他言語版 Wikipedia 間の「Wikipedia 作成優先項目」に、今回の提案手法を適用した結果を示す。最も文化差の検出数が多い言語が英語版であり、もっとも少ない言語が中国語版である。今後、検証が必要であるが、Wikipedia における登録記事数や記事の文章量が影響している可能性がある。

今回提案した手法では、図 2 で提案している第 2 種の文化差の判定における「国名・言語名が多い」という判定条件において、「多い」と判定する値を決定していない。表 7 では、暫定的に、日本語版の記事における「日本」に関連する検索数が 10 件以上、他言語版の記事におけるその言語の国名関連語の検索数が 10 件以上の閾値を設けた。また、不等号の違いの判断については、1 つ以上違えば文化差があったと判定している。今後、検索数の閾値や不等号の違いの判断基準については、検討が必要である。

表 8 に、第 2 種の文化差を検出した語句一覧（上位 10 件*1）を示す。上位 10 件は、「日本」および各言語版の国名関連語の検索数順であり、言語版の違いによって、順位が変わる。今後、これらの第 2 種の文化差を検出した語句の検出精度の検証が必要である。

*1 10 位が複数ある場合には、上位 11 件を示している。

表 7 日本語版 Wikipedia と他言語版 Wikipedia 間の第 2 種の文化差の検出数

Table 7 The number of the second kind of cultural differences between “Japanese” and other cultures.

中国語版	韓国語版	英語版	ポルトガル語版	フランス語版	ドイツ語版	スペイン語版
38	50	144	36	132	103	54

※第 2 種の文化差の検出において、日本語版の記事における「日本」に関連する検索数が 10 件以上、他言語版の記事におけるその言語の国名関連語の検索数が 10 件以上の閾値を設けた。

※不等号の違いの判断については、1 つ以上違えば文化差があったと判定している。

6. おわりに

今回、多言語知識のデータベースとして Wikipedia を用い、記事に含まれる国名や言語名(国名関連語)の数によって、文化差の検出が可能かどうかを検討した。

本稿の貢献は次の 3 点にまとめられる。

- (1) 文化差として、第 1 種の文化差、第 2 種の文化差を定義した。
- (2) Wikipedia を用いた文化差検出手法として、記事に国名や言語名が含まれる数を用いる方法を提案した。
- (3) 国名関連語を用いることによって、第 2 種の文化差を判定できる可能性を示した。

今後の課題として、第 2 種の文化差を検出した語句の、検出精度の検証がある。また、記事に国名や言語名(国名関連語)の検索数が近接している場合の判定基準の検討が必要である。最終的には、他の多言語サービスへ提供できるように、Web サービス化を行う。

謝 辞

本研究の一部は、日本学術振興会科学研究費 基盤研究 (B)(22300044) の補助を受けた。

参 考 文 献

- 1) 藤井薫和, 重信智宏, 吉野 孝: 機械翻訳を用いた異文化間チャットコミュニケーションにおけるアノテーションの評価, 情報処理学会論文誌, Vol.48, No.1, pp.63-71 (2007).
- 2) 藤井薫和, 吉野 孝: 異文化間コミュニケーション支援のためのアノテーション自動獲得システムの開発, 情報処理学会研究報告, グループウェアとネットワークサービス研究会, 2008-GN-66, pp.141-146 (2008).
- 3) 岡本健吾, 吉野 孝: 会話中の名詞の関連情報を用いた対面型異文化間コミュニケーション支援システムの構築と評価, 情報処理学会論文誌, Vol.52, No.3 (2011).
- 4) Cho Heeryon, 石田 亨, 山下直美, 稲葉利江子, 高崎俊之, 神田智子: 絵文字解釈における人間の文化差判定, ヒューマンインタフェース学会, Vol.10, No.4, pp.427-434 (2008).

- 5) Tomoko Koda and Toru Ishida: Cross-cultural study of avatar expression interpretations, Proceedings of International Symposium on Applications and the Internet (SAINT 2006), pp.130-136 (2006).
- 6) 松浦愛美, 江口浩二: 時系列対訳トピックモデルを用いた言語横断トレンド分析, 情報処理学会研究報告, Vol.2010-DD-75, No.11, pp.1-5 (2010).
- 7) 吉岡真治: Wikipedia を用いた中日カタカナ翻訳辞書の作成と言語グリッドへの応用, 電子情報通信学会技術報告, 人工知能と知識処理, Vol.109, No.424, pp.43-46 (2010).
- 8) 西田ひろ子: 異文化間コミュニケーション, 創元社 (2000).
- 9) 吉野 孝, 宮部真衣: Wikipedia を用いた文化差判定の検討, 情報処理学会第 73 回全国大会, 第 4 分冊, 1G-2, pp.391-392 (2011).
- 10) Wikipedia 財団: Wikipedia:翻訳のガイドライン (オンライン), 入手先 <<http://ja.wikipedia.org/wiki/Wikipedia:翻訳のガイドライン>> (参照 2011-05-28).

表 8 日本語版と他言語版間の第 2 種の文化差を検出した語句一覧 (上位 10 件)

Table 8 The words list of the second kind of cultural differences between “Japanese” and other cultures (Top 10).

中国語版		韓国語版	
「日本」国名関連語順	「中国」国名関連語順	「日本」国名関連語順	「韓国」国名関連語順
大韓民国	大韓民国	キリスト教	中華人民共和国
キリスト教	ベトナム	ベトナム	エスペラント
ベトナム	タイ王国	香港	ロシア
フランス	茶	アメリカ合衆国	憲法
都市	マルコ・ポーロ	フランス	文化大革命
タイ王国	社会主義	ポーランド	カトリック教会
地震	シンガポール	タイ王国	ニュージーランド
インド	ヨシフ・スターリン	オーストラリア	ベトナム
ソウル特別市	道教	中華人民共和国	イスラエル
茶	太平洋	メキシコ	ヨシフ・スターリン
	後天性免疫不全症候群		

英語版		ポルトガル語版	
「日本」国名関連語順	「英語」国名関連語順	「日本」国名関連語順	「ポルトガル」国名関連語順
第二次世界大戦	第二次世界大戦	ブラジル	イエス・キリスト
大韓民国	スペイン語	フランス	ブラジル
キリスト教	野球	ビートルズ	サッカー
ベトナム	キリスト教	地震	ビートルズ
ウクライナ	ビートルズ	バスケットボール	スペイン語
ラジオ	奴隷	サンパウロ	ドイツ
自殺	大韓民国	ドイツ	悪性腫瘍
船	トウモロコシ	イスラム教	欧州連合
ビートルズ	バスケットボール	死刑	カトリック教会
ポーランド	中華人民共和国	カトリック教会	第一次世界大戦
都市			

フランス語版		ドイツ語版	
「日本」国名関連語順	「フランス」国名関連語順	「日本」国名関連語順	「ドイツ」国名関連語順
第二次世界大戦	サッカー	第二次世界大戦	第二次世界大戦
ベトナム	第二次世界大戦	ブラジル	再生可能エネルギー
ブラジル	欧州連合	ウクライナ	柔道
アニメ	映画	ラジオ	糖尿病
自殺	アドルフ・ヒトラー	自殺	都市
アメリカ合衆国	ジャガイモ	アメリカ合衆国	テレビ
ビートルズ	北大西洋条約機構	フランス	サンスクリット
ポーランド	ドイツ語	都市	自動車
都市	地球温暖化	ダム	オランダ
ウマ	フェミニズム	中華人民共和国	自殺
		野球	

スペイン語版	
「日本」国名関連語順	「スペイン」国名関連語順
大韓民国	メキシコ
ブラジル	欧州連合
アニメ	ファシズム
アメリカ合衆国	アナキズム
フランス	アニメ
都市	中世
オーストラリア	大韓民国
ビール	人種差別
メキシコ	アメリカ合衆国
プロパガンダ	アルジェリア